

伝達表彰・校長講話

今年度の総まとめである学年末考査の最終日に表彰伝達を行いました。表彰された生徒は次の皆さんです。

第29回 長崎県学校新聞コンクール 努力賞 生徒会副委員長 和泉 雛乃

第13回 西海市武道初め弓道大会 女子個人の部 準優勝 北村 美加

平成29年度 長崎地区弓道選手権大会

男子団体 第3位 代表 方山 友樹 (岸川 志遥、川岡 洸希、方山 友樹)

高校男子個人 第4位 岸川 志遥



その後の校長講話では、次のようなお話がありました。
『現在平昌オリンピックがあります。私もテレビで見っていますが、最近オリンピックに限らずスポーツ選手の試合後のコメントを聞くと、「これまで支えてくれた人に感謝します」という言葉をよく耳にします。特に冬のオリンピックの種目は経済的にも支えて下さる人が多いからかなと思いますが、そこで、内田樹という思想家がこんな事言っていたのを思い出しました。「贈与には反対給付が必要である」簡単に言い換えると、「もらったものにはお返しが必要です」ということです。例えばオリンピックに出場した人は、出るだけでも素晴らしいことですが、では私たちの日常ではどうでしょうか。もらったときはどうするか。私は、「何か物やお金を」とだけしか思わない人はどうかと思います。その前に「ありがとう」「助かりました」「お陰様で」、ではないでしょうか。または何かを手伝ってあげることがあってもよいのではないのでしょうか。更に言えば、例えば注意してもらえ、叱ってもらえることに対して、ありがたいと素直に思えるでしょうか。実際に言葉にできなくても、心の中でありがとうと思ってその後の行動でお返しをすることも出来る。では、私の場合は

どうかというと、私は人の役に立ちたいといつも思っています。ささやかかもしれないけれど、校舎内で落ちていたゴミがふと目につく。その時は必ずゴミを拾います。そういうささやかなことでも良いのではないかと思います。与え与えられ、支え支えられる、この西彼杵がそういう集団でありたいと心から思います。オリンピックを見ていてそんなことを考えました。』

